



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 高千穂交易株式会社

上場取引所 東

コード番号 2676 URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井出 尊信

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 岩本 昌也

TEL 03-3355-1111

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,435	△6.4	401	△37.0	343	△51.5	154	△67.4
2020年3月期第3四半期	15,425	9.4	636	20.0	707	16.1	473	30.3

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 257百万円 (△58.9%) 2020年3月期第3四半期 626百万円 (129.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	17.33	—
2020年3月期第3四半期	53.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	18,214	13,629	74.8	1,529.19
2020年3月期	18,556	13,584	73.2	1,524.28

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 13,618百万円 2020年3月期 13,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、安定配当額(年間24円)を下限として、連結配当性向40%以上とすることを配当方針としております。この方針に従い、現時点で配当額は未定ですが、2021年3月期配当については、第2四半期末の配当金を12円、期末配当金は年間配当額を連結配当性向40%以上にて実施する予定としております。よって、期末配当金および年間配当金の記載を「—」と表記しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,100	△2.5	750	△4.8	700	△20.9	390	104.6	43.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	10,171,800 株	2020年3月期	10,171,800 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	1,266,078 株	2020年3月期	1,266,058 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	8,905,735 株	2020年3月期3Q	8,905,753 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にありますが、持ち直しの動きがみられます。先行きについては、緊急事態宣言が再発令されるなど、厳しい状況にあるものの、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、感染症拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクや金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にありますが、新たな成長を見据え付加価値による競争力強化と収益力向上及びグローバルビジネス拡大や新規ビジネスによる収益基盤の創出を図っております。

具体的には、システムセグメントでは、主要商品である商品監視システムや入退室管理システムの付加価値強化、クラウド型無線LANやテレワークに関連したリモートアクセス商品の販売強化、RFIDシステム、省人化システムなどのリテールソリューション等の新たな市場開拓、またタイ及びASEAN諸国において展開する高度防火システム事業の拡大を図っております。

他方、デバイスセグメントでは、電子事業においては主に通信インフラ市場やオートモティブ市場への拡販、また産機事業では従来のATM向け機構部品に加え、北米、ASEAN諸国、中国への住宅設備向け機構部品の販売、国内外における自動車内装部品市場の開拓などに注力しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、テレワーク需要の高まりによるリモートアクセス商品や通信端末向け半導体部品の販売が好調だったものの、国内外のオフィス関連市場や製造業及び建設業など、当社が注力する市場の減退により、前年同期比6.4%減の144億35百万円に留まりました。

損益につきましては、上記理由により、営業利益は前年同期比37.0%減の4億1百万円、経常利益は前年同期比51.5%減の3億43百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比67.4%減の1億54百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比10.8%減の85億24百万円、営業利益は前年同期比51.6%減の1億89百万円となりました。

リテールソリューション商品類では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う新規出店抑制などの影響を受けて商品監視システムの販売が減少した一方で、CCTV、顔認証システムの販売や、携帯キャリア向け大型案件などによりその減少を上回る結果となり、売上高は前年同期比13.0%増の30億48百万円となりました。

オフィスソリューション商品類は、テレワーク需要の高まりによりリモートアクセス商品の販売が好調に推移したものの入退室管理システムの販売が減少したことなどにより、売上高は前年同期比14.7%減の22億49百万円となりました。

グローバル商品類は、タイの高度防火システムの売上が原油価格の低迷や新型コロナウイルス感染症の影響で新規プラント建設が停滞したことなどから減速し、売上高は前年同期比33.7%減の17億97百万円となりました。

サービス&サポート商品類は、売上高は前年同期比5.4%減の14億29百万円となりました。

(デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比0.7%増の59億11百万円、営業利益は前年同期比13.8%減の2億11百万円となりました。

電子商品類では、テレワーク需要の高まりにより通信端末や半導体製造装置向け電子部品の販売が好調に推移したことなどから、売上高は前年同期比11.3%増の30億3百万円となりました。

産機商品類では、複写機やオフィスファニチャ市場への機構部品の販売が減速したことなどにより、売上高は前年同期比8.3%減の29億7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ3億41百万円減少し、182億14百万円となりました。これは商品及び製品が3億70百万円、投資有価証券が3億9百万円、有形固定資産が2億89百万円増加した一方で、現金及び預金が8億65百万円、受取手形及び売掛金が4億88百万円減少したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ3億86百万円減少し、45億85百万円となりました。これは未払法人税等が2億41百万円、支払手形及び買掛金が1億43百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ44百万円増加し、136億29百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末から1.6ポイント上昇し、74.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年11月6日に公表いたしました「通期業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,199	5,334
受取手形及び売掛金	6,720	6,231
商品及び製品	2,597	2,967
原材料	108	155
その他	732	940
貸倒引当金	△122	△126
流動資産合計	16,236	15,503
固定資産		
有形固定資産	299	588
無形固定資産	147	299
投資その他の資産		
投資有価証券	925	1,235
その他	947	588
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,872	1,823
固定資産合計	2,319	2,711
資産合計	18,556	18,214

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,591	2,448
未払法人税等	241	-
賞与引当金	235	140
役員賞与引当金	1	-
本社移転費用引当金	82	-
その他	1,021	1,191
流動負債合計	4,174	3,780
固定負債		
長期未払金	35	47
退職給付に係る負債	729	722
その他	31	34
固定負債合計	797	805
負債合計	4,971	4,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,172	1,172
利益剰余金	12,388	12,328
自己株式	△1,231	△1,231
株主資本合計	13,537	13,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204	249
為替換算調整勘定	△165	△111
退職給付に係る調整累計額	△2	2
その他の包括利益累計額合計	36	140
新株予約権	9	10
非支配株主持分	0	0
純資産合計	13,584	13,629
負債純資産合計	18,556	18,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	15,425	14,435
売上原価	11,611	11,075
売上総利益	3,814	3,360
販売費及び一般管理費	3,177	2,958
営業利益	636	401
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	18
為替差益	21	-
受取保険金	18	5
助成金収入	-	3
持分法による投資利益	2	-
その他	8	6
営業外収益合計	72	33
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	-	1
支払手数料	1	0
投資事業組合運用損	-	51
為替差損	-	35
その他	0	0
営業外費用合計	1	91
経常利益	707	343
特別利益		
投資有価証券売却益	67	-
新株予約権戻入益	0	4
特別利益合計	68	4
特別損失		
減損損失	※ 10	-
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	11	0
税金等調整前四半期純利益	764	347
法人税、住民税及び事業税	253	128
法人税等調整額	36	65
法人税等合計	290	193
四半期純利益	473	154
親会社株主に帰属する四半期純利益	473	154

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	473	154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	44
為替換算調整勘定	95	53
退職給付に係る調整額	5	4
その他の包括利益合計	152	103
四半期包括利益	626	257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	626	257

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

2020年7月1日付で、当社の連結子会社であった高千穂コムテック株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、第2四半期連結会計期間より連結範囲から除外しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

前第3四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

場所	用途	種類
群馬県吾妻郡嬭恋村 他5件	遊休資産	土地

当社グループは、原則として、事業用資産については事業の種類を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

前第3四半期連結累計期間において、事業の用に供していない遊休資産のうち、回収可能価額が帳簿価額を著しく下回っている資産グループについては、減損損失を10百万円計上しております。遊休資産の内訳は全て土地であります。

なお、遊休資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価額を基礎とし、固定資産評価額を用いて合理的な調整を行い、算出しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	9,556	5,869	15,425	—	15,425
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,556	5,869	15,425	—	15,425
セグメント利益	391	245	636	—	636

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産に区分される土地の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、前第3四半期連結累計期間においては10百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	8,524	5,911	14,435	—	14,435
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,524	5,911	14,435	—	14,435
セグメント利益	189	211	401	—	401

3. 補足情報
販売実績

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
リテールソリューション商品類	2,697	3,048
オフィスソリューション商品類	2,636	2,249
グローバル商品類	2,710	1,797
サービス&サポート商品類	1,511	1,429
システム 計	9,556	8,524
電子商品類	2,699	3,003
産機商品類	3,170	2,907
デバイス 計	5,869	5,911
計	15,425	14,435